



クリニカルラダー構造

ラダーV

(エキスパートナース)

より複雑な状況において、ケアの受けてにとっての最適な手段を選択肢、QOLを高めるための看護を実践する。

所属をこえて組織的に指導的役割を取ることができる。部署内の状況を把握し問題解決に向けてリーダーシップが取れる、また院内の倫理問題を把握し多職種とともに問題解決に向けた行動が取れる

ラダーIV

(ベテランナース)

幅広い視野で予測的判断を持ち看護を実践する。

所属部署を超えて看護部内の問題を把握し、組織全体の目標達成に向かって行動できる倫理的な実践的知識を活用して、卓越した看護実践を行う事ができる
豊富な知識と経験を活かして質の高い看護実践ができる

ラダーIII

(中堅ナース)

ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する。

エビデンスに基づく看護実践ができ、組織的な役割を遂行できる
所属部署における看護実践の役割モデルとなれる

ラダーII

(一人前ナース)

標準的な看護計画に基づき、日常必要な看護を自立して実践する。

看護実践の場面において、自立して安全・確実な看護を実践できる
チームリーダー的な役割を自覚して、業務の責務を認識・実践できる

ラダーI

(新人～ひとり立ちナース)

基本的な看護マニュアルに従い必要に応じて助言を得て看護を実践する。

指導を受けながら、基本的な看護を実践できる
指導を受けることによって、自己の学習課題を見つける事ができる

クリニカルラダー